

# 5年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に意欲的で、物語教材や説明的文章教材を好きになり、楽しんで読み取りをしようとしている。</li> <li>・俳句を作る活動には、意欲的に取り組む態度がある。</li> <li>・タブレットを活用することで、作文やレポートの苦手感が少なくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎文を書くときに、書く内容の中心を明確にしたり、文章構成を考えながら書いたりすることが苦手な児童が多い。</li> <li>○漢字の定着における個人差が大きい。ミニテストでは満点が取れても、50問テストになると、過去の漢字を忘れていることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎文を書く時には、相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にして書くよう授業で繰り返し指導を行っていく。</li> <li>・漢字の小テストは継続的に行うが、パターンを変えて取り組むなど工夫する。</li> <li>・読み取りに関する自分の考えを交流する場面を単元の中に設定する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心が高く、意欲的な取り組みが見られる。</li> <li>・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料を正しく読み取ることが苦手な児童が多い。</li> <li>・社会的事象について、疑問に思ったことや感じたこと、自分の考えを書くことに苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料の読み取り方を丁寧に指導し、自力解決の時間を確保する。</li> <li>・資料から分かったこと、疑問に思ったことを考えさせ、自分の言葉でノートにまとめさせる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数的活動にすすんで取り組む児童が多い。</li> <li>・立式から課題解決までの過程において、根拠に基づいて自分の考えを表せる児童が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎答えを求めた後、検算をしたり、見直しをしたりすることをせずに間違える等、ケアレスミスが多い。</li> <li>・分度器の見方や角の大きさについて基礎の定着が不十分な児童が一定数いる。</li> <li>・もとにする量と比べられる量の見分け方がまだ難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分の考えを図や数直線等を使って表し、根拠とすることができるようにする。</li> <li>・設問をよく読み、設問に合わせて答えを導き出せるようにする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科への興味・関心が高く、特に、実験・観察に対して意欲的な取組が見られる。</li> <li>・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎考察（予想・結果）を書く際、自分の言葉でまとめることが苦手な児童がいる。</li> <li>○実験結果を受けて、自分の考えとして説明したり書いたりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎結果から分かったこと、結果から生まれた新たな疑問など、考察に書く内容を具体的に示すことや例題に即した内容を掲示するようにする。</li> </ul>

<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題意識をもち、表現に必要な技能を高めるために努力できる児童が多い。</li> <li>・鑑賞では、曲想と音楽の構造との関わりと関連させて音楽を味わって聴くことができる。</li> </ul>	<p>◎自分の歌声や演奏の音を全体の中で調和させる技能が十分に身に付いていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱や合奏では、音を合わせて演奏する技能が身に付くように、互いの歌声や各声部の音、副次的な旋律、伴奏、全体の響きをよく聴くことに重点を置いて、調和のとれた演奏ができることを目指す。</li> </ul>
<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表したいことに合わせて既習の材料や技法を積極的に生かそうとする児童が多い。</li> <li>・友達の表現に関心をもち、よさを伝えて自分の表現に生かそうとする児童が多い。</li> </ul>	<p>◎自分の表したい思いをもつことができる児童が多いが、材料の特徴を生かして発想することについて個人差が大きい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の特徴をじっくり味わう時間、感じたことを発表し合う時間を設ける。</li> <li>・製作途中に相互鑑賞の機会を設け、互いの工夫のよさを自分の表現に生かせるようにする。</li> </ul>
<p>家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習においては積極的に取り組むことができた。</li> <li>・活動を通して、裁縫や調理の基本を押さえることができた。</li> </ul>	<p>◎学校や家庭において、知識の活用を図れるよう指導を工夫していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手先の不器用さにより、針の扱いや玉止めが上手くいかないことや、縫うとはどのようなことかの理解が難しい児童がいる。</li> </ul>	<p>◎家庭科で学習したことを日常生活に関連付けることで、より一層の理解の定着を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫やミシンによる作品の制作への達成感が持てるように、机間巡視やグループ活動をうまく活用していく。</li> </ul>
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に対する意欲が高く、友達と協力しながら取り組むことができている。</li> <li>・体育に関する道具を正しい使い方で使うことができている。</li> </ul>	<p>◎自分の課題に向かって、どう取り組めばよいのか分からず、ただ単に取り組む児童が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動技能に個人差があり、習得に時間を要する児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動のポイントを学ぶ時間、学び合いの時間を意識的に設け、さらに深い学びにつなげていく。</li> </ul>
<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に積極的に取り組むことができ、英語を聞き取ろうとしたり、すすんで声を出して発音したり意欲的に取り組む児童が多い。</li> </ul>	<p>◎単語を聞き取る際、似た発音の単語を間違えて覚えていることがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綴りを見せたり、音と物を一致させるためにフラッシュカードを使用したりする。</li> </ul>